

平成26年度事業報告書

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

- ・法人本部
- ・特別養護老人ホーム かりん
 - ・老人短期入所施設 かりん
 - ・デイサービスセンター かりん
 - ・居宅介護支援センター かりん
 - ・在宅介護支援センター かりん
- ・小規模多機能型居宅介護 いこいの郷花梨

<認知症対応型共同生活介護事業>

- ・グループホームいこいの郷花梨 成瀬
- ・グループホームいこいの郷花梨 赤羽根
- ・特別養護老人ホーム かりん・町田

<保育園事業>

- ・湘南まるめろ保育園

社会福祉法人 永寿会

平成26年度 事業報告

昨年12月の総選挙の結果を受けて、安倍首相は次々と集団的自衛権の検討や解釈拡大を述べ、平和・安全法制の構築に向け、憲法の見直しに精力的に意欲を集中しています。

しかし、アベノミクスの経済政策の恩恵を受けるのは、大企業と投資集団や金融資産を有する部分に集中し、なかなか庶民には回ってこない状況にあります。

中東、アラブ諸国の不安定さは色々な面で世界に影響を与え、また、中国の膨張主義的対外政策で、世界でその影響を引きずり、経済政策の展開についても、少しずつしか景気回復の兆しがみられません。

また、東日本大震災からの復興はまだ依然として大きな爪痕を残し、回復のための公共事業や建築物建設等で資材や専門技術者が動いており、関東周辺のハード建設に大きな影響が出ています。私達はこうした中、更に箱根の大涌谷の地下マグマの心配もあり、より一層地域の防災対策強化に努めなければなりません。

また、最近の少子高齢化の進行の中で、日本国内では若年労働力の不足から、若い人たちが子供を育てやすい社会環境が整備される必要があるとされ、今まで集中的に高齢者介護環境の改善に努めてきた国をはじめとする公共諸政策が保育環境整備にシフトされつつあります。

永寿会は本年2月に東京都町田市で新型特養事業を完成させ、ご利用者の入居に供しており、ここ1か月で満床の予定であり、GH 成瀬と連動して、町田市民の介護サービス環境の拡充に役立てていきます。

法人全体としては、平成26年度で開設11周年となり、新型特養や保育園整備の広がりの中で、新たな飛躍を期して、各施設全体で、理念に基づき、堅実な運営を進め、効率的な人事配置とランニングコストの削減に努めてきており、今後の展望も広げるためにも一層の努力が必要である。同時にこうした展開に合わせて法人組織の再編や職員処遇の整備が求められるようになっていきます。

要介護者を抱えるご家族の皆様や行政・地域関係者の信頼と期待に応えると共に、更に次世代育成の社会環境を改善してゆく時代的要請も一層大きくなって、職員の技力と熱意、関係者の協力、支援の輪を背景に、「あたたか、安心、いきいき」の理念のもと、充実した日常生活の提供と、地域協力の輪の拡充強化に向け努力してきました。そのことが苦しい面もあるが、法人の未来に結びついていくと思われま。

<総合的総括内容について>

- 1、法人の6事業を夫々の地で展開することになり、法人組織の再構築と透明性の確保や個々の事業をグループ化し、合理的な把握と展開を模索することが課題として浮かび上がってきた。
- 2 平成24年度介護保険制度改革に引き続き、27年4月の「地域包括支援システム」という制度設計の大きな変化も見据え、給付水準や通所介護の提供体制の変更、加算体制の変化、医療行為に関する環境体制等背景に様々な努力をしたが、将来展望に明るい兆しが見えない苦闘の1年間であった。法人全体としては、関係職員の地道な協力や努力を背景に新たな事業展開を進めることができ、次の展開に向けた地盤を固められたが、人事処遇や組織管理等ソフト面で検討改善する課題が表出してきた。
- 3 他の産業分野に比較して展望がある「新成長産業」といわれている介護事業へは、様々な企業が子会社を設立して進出し、イコルフイテングの名のもとに社会福祉法人事業への圧力を強めており、事業展開では苦しめられてきた。今後は利用体制の調整や人事体制の整備に進め、太刀打ちできるようにハードとソフト両面から検証する必要があることが分かった。
- 4 事業に関わる介護職員等の人材は、26年度色々な課題が判明し、再構築する状況を確認して努力をしてきたがまだ半ばという厳しい状況も出てきている。

また、神奈川県高齢者福祉研究発表大会への発表・参加、施設内の研修会、神奈川県の介護人材定着助成金による小規模事業者連携事業等の講座設定や非常勤職員等を

対象にした人材育成や能力向上の研修を開催したが、参加状況に課題を残した。

- 5 事業拡大と共に組織体制や事務処理、経理処理等の整備、確立が必至の課題として一層必要となり、法人本部と各事業所の分離と協調の体制に取り組んだ。しかし、初期段階のため、まだまだ意図する段階までには至っていない。
- 6 高度情報社会ではIT機能は不可欠で、法人事業の透明性の確保の観点からも、法人のホーム・ページのリニューアルと充実強化が必要として、業者委託で更新・再生に取り組んだ。新規事業も包括して再作成し、活用に入っているが、継続的な情報の追加やアップをしなければならない。
- 7 保育園整備事業は昨年6月の着工から本年3月を工期として、特殊木造工法SD工法による設計、建築のため、設計担当者、施工業者共苦勞をされたが無事竣工に至った。今後は各事業間でのプラスプラスの関係を模索する。
- 8 藤沢の「特養施設かりん」は建設から12年を経過し、先日建設業者のチェックを受けガス冷暖房や電話交換装置等、施設設備備品類で耐用年数が近くなっているため、交換・修理で計画的再整備を必要とすることで明確になった。

< 法人本部 >

- 1 定款変更関係
 - (1) 平成26年6月3日 下記の内容について法人登記の変更登記処理を行った。
 - ・法人資産の変更
- 2 監査関係
 - (1) 神奈川県保健福祉局介護保険課による指導監査
今年度は対象にならず。
 - (2) 厚生労働省関東信越厚生局による指導監査
今年度は対象にならず。
- 3 選挙について
 - (1) 第47回衆議院議員総選挙平成26年12月14日施行
当施設では12月12日に不在者投票を行った。投票者6名。
なお、今回から選挙管理委員会より外部立会人者1名が投票に立ち会っている。
- 4 理事会・評議員会・監事監査
 - (1) 監事監査 平成26年 5月17日
 - (2) 平成26年度第1回理事会 平成26年 4月25日
 - ・工事業者選考について
 - ・工事経費等について
 - (3) 平成26年度第2回理事会及び第1回評議員会 平成26年 5月24日
 - ・平成25年度事業報告について
 - ・平成25年度決算報告等について
 - ・監事監査報告について
 - ・法人執行組織の再編について
 - ・(仮称)湘南まるめろ保育園工事関係の報告について
 - ・法人関係定款・規則・規程等の改定について
 - (4) 平成26年度第3回理事会及び第2回評議員会 平成26年12月13日
 - ・平成26年度前期事業経過報告について
 - ・平成26年度中間決算報告について
 - ・平成25年度第一次補正予算の承認について
 - ・特養「かりん・町田」進捗と開所式、と追加工事等について
 - ・湘南まるめろ保育園の進捗と今後のスケジュールについて
 - ・法人役員の辞任変更と改選方針について
 - ・定款変更及び関連規則・規定の変更について
 - ・特養かりんと特養かりん・町田の施設長人事について

- (5) 平成26年度第4回理事会 平成27年 3月 1日
- ・特養「かりん・町田」整備事業に関する資金・運営について
 - ・「つなぎ資金」借入れの概要について
 - ・湘南まるめろ保育園の竣工祝賀会について
- (6) 平成26年度第6回理事会・第4回評議員会 平成27年 3月29日
- ・平成26年度事業計画案について
 - ・平成26年度事業予算案について
 - ・定款変更及び関連規則・規定の変更について
 - ・平成25年度最終補正予算の承認について
 - ・「湘南まるめろ保育園」事業の報告と竣工祝賀会について
 - ・「つなぎ資金」借入れの概要について